



茶子襦述
六

ヲ多 9
694
8



門 7 9
卷

茶湯一會之事
易掃除之事
物晝夜會之事
饒教寄之事
不時之會之事
一人客之事
家具之事



一亭主ブリ懇懇ニメサナカラ窮屈ニナクウナトケテ隔心ナ
ク亦シダラクニセヌ心ハ張弓ノコトクタルニナク客ノ氣ニサカ
ラハス深々トウナ語り立ハ忘ル、硬ニ客人ノ氣ニアイヌ客
ニモ亭主ノ氣ニ合重テ虧テ可糸ト思フコトクニ會過タル
ヲ上手ノ茶ノ湯出来タルト云事也トノ御意也
一數寄ノ衣裳ハ何ニテモ不昔ハ去昔ハカナンノ物着セス茶ノ也
並合タルトノ事ノ利休ハ黒キ物ヲ着メ可然ヨシ中ノ御意之
昔ハ亭主ノ掛物ノ表具ノ也ナトニ為似物忌セス高代ハ廿ホト
吟味ナシ但今以貴人秘務ノ表具ノ表具ノ也尋テ其

リハ著サルモヨシト將監中ハ

一 教寄屋へ道服著スル物トモ着セサル物ト利休所尋不意
ハ宅左道服着道具引カル事モ有ヘシ著セサルカ可然坊主ハ
道服代ニ重物ヲ上著シタル時ハ白衣ニテモ不苦ハ一重物ハ夜ノ
代リト湯意也

一 客ハフクサ縮ヲ懐持タルカ吉塗物ヲ持付フクサニテ取利休ハ塗
物取ミフクサ絹ニテトルハヤウナイ見ユルトテ服紗ハ不出益大目ノ
臺モセカイヲ直ニ取テ見トシテ得共若茶入ノ兼ナトボレハ時フクサ
絹ニテフキヤメメ持テ行ハ言ト利休中由湯意也

雲ノ掃除之事

一 雲降可申ト見ハ掃除ノ儀ハ及モ水降ノ水カホシ柄
取モ甚又カ吉亦本水降ノ水有ハ柄取モアルヘシ其時ハ
雲降ツセラセ其儀是ヘシトヤ

一 石タニハ兼テヨリ竹スヲシキ是テ上ノ雲ヲアラハシ取
テ残ル雲ハスニ卷コソテ取ルカ吉飛石ノ上ニコリタル雲ハ
水カ湯ヲカケテ平帚ニテスリケシ脇へナラサル状ニ
暉麗ニトル事也トヤ

一 降雪ナラハ飛石ヨリニ高クツセラハキノケテ飛石ヨリヒキク

ツセラセテ吉ハキノケタル雪餘リ多ク作リ上ラハキノケルメ
ツセラセテ吉雪降ラスハ上ラハキノケテハ悪敷ナリ平ヲ付
サルガ吉トカク脇ハ雪ナラサルヤウニ仕事也トP
一雪降ヤミフカキ雪ニテ作リ通リノ道ノ雪ヲ切ヌキ地ニテ吉
ヲトリノケテ置也雪降ヤミ所ニ残シハテ残ル者ヲ其後を
テナキ所ハを暉簾ニ掃除スヘシ座敷ノ前ニヤリ地アラハ其
ハ者ノケテモ吉

一雪消タル路地ハ見苦シキ所ハハキノケテ亦ハ奇麗ニ者ヲ残シテ
吉

一雪消ニ客来ルノ時カキカヲ持ナカラ途ニ出ル事モ有但
侘ノ事ナリトP

一路地入ノ内分雪濃ノ乃ノ雪ハカキノケストモ不苦中互ノ前ハ
カキノケ袴ノスソニモカマハサル候ニカキノケヘシト申

一雪雨ノ時ハ外路地ニ竹子差ラ客ノ敷一ツニカサ子又ゲタヲモ
同前ニ置ヘシ雪不不定物ニカマワサル不ニ置ヘシ書院ヨリ路地
出シテ時ハセキタヨリケタヲ置テ吉トP

一雪月ノ夜ハ早ク客来ル物ニ亭ノ主モソノ心持有事トP
一雪ノ氣ノ雪多ハ客路地ハ久敷不ニ置候ニ急内ヲ仕事

呼入カ右トPハ

一 松葉マキ根下地ヨクハキテ茶湯一兩日煎マクカ吉飯ニマ
キ惟ハヨリ合ヌ物之亦イツキ過タルセPシウキトPル
カ能トPハ

一 松葉キハ余リウスキハPシ亦Pツキモ見ニクシ松葉キハ
ニテ横汁ニナシテ是ハ悪ク堅ニモ横ニモシトケナクハキヨ
セタル根ニサスカキハヨク立タルカ右石タシノ支脇一方ハ石タ
シノキハマキ付一方ハ四五寸程間ヲノケテ能ハトPハ

一 松葉ノ上ニ爰カシコニ松カサ亦ハ落葉ナトナラシモモ右

振別松ノ木ナキ亦ハ松葉シカヌ物之其代ニ落葉ナトナシ
キテモ右青松葉ナトハPシトPハ惟

一 石地炉ノ右ハ地心ホソキラニ筋立土罌一ツニメ夜ルセツ
地ハニ俄ニ地ハハ荒リツヨクテPシ風吹スハ障子ヲノケ
テ置モ右月ノ夜亦ヤシノ夜ハフトキ地心ニ筋立トPハ

惟

一 雲陽ハワラヒホウキラ塵穴ノ上ノ釘ニ懸壺跡ハ荒スナ
ラ山ナリニ壁ニ付テ是カケツホハモ流カルヤウニメ其ソハニ
スナカキラ互カケテ是ハ真中ヨリクナハ出メ置カ右尤

壁ニ互カケ塵定ニ竹箸ヲサシテ置也ト云

一 平水萍ニ枲置硯丸キ萍ト四角ナル萍ニ枲枲ヲフセ

テ先ノフテ枲ノ筋ヲ持セテ真スクメ置之但四角

ナル萍ヲ角ヲ筋ニシテ有ク時ハスナカイニメ置テ右其時

ハコウクナヲ筋ニシテヲクナリ横ヒロキ萍ナラハ檜木枲

ヲスナカイニメコウクナヲ筋ニシテ置也ト云

一 外腰掛。夜未明ノ内ハ塗リ行地置之置所不定物ニカマ

ハサル所見合テ可置ト云

一 内腰掛。内坐ヲ客ノ敷ニ重テカメハキニ置之ト云

一 坐敷ノク、リハキニセキタ一疋立カケテ置也、アシキセキタヲ置

物也ト云

一 冬ハ朝夕ニ水ヲ余リウツハカラス新く石ノカハキタルヤウニ

ウツベシ但木ニ打也、長保ノ冬ナル日ハ石ニセカケテ吉ト云

一 座敷ノツキ上朝夜ノ内ハをツキ上不申障子ニホラニ押入

テ置事ナリ夜明テ後ハ尺ハニテツキ上中竹ノ節ヲ

サカサマニメ竹ノ目ヲ外ニシテ置物之炭置中時クラク

中ノホウミテ上中ニハ長キホウミテ上テ吉ト云

一 窓連子ノ事朝夜ノ内ナラハク、リノ上ノ窓ハ障子ニテ吉

其外ハ見合五ツ窓アラハニ所障子ニ取ハ戸ニメ吉方クニ
リ見ユルハアシ、中五ハ一所カ戸ナシニモ見合トカク初坐
ト中五ト仕カヘル事足ヲ窓サハキト云テ所要仕事ト
ナリ

一 在床ニ朝夕居ニ初ハ懸ケ物後ハ花ナリ若花ヲ先ニ入ル事
アラハ後ハ床ニ何モ不置イ墨蹟後ハカケ又物ナリ其子細茶
ノ湯ハ禪家ヨリ出タルヨシニテハサシノ祝儀ニ師一人申請イ
ニカラ床ニカケモツソウ食ニテ茶ヲ進イ其跡ニ相弟子衆ハ
ハイニカハ見セス物故花ヲ入テ菓子ナシテ茶ヲフルマウソノレイ

亦ハ客ヒロキ不ニ居テサカニル氣ノウナシ坐敷ハ入テモ氣
モツキサルウナシ眞ナルカケモノヲカケ客ノコ、ロヲシツメテ
トヲモシロクヲホヘル内ニヤウクモセツマリ可申時中五シテ
草木ヲナカメ氣モツヨクナリテ座敷ハ入ル床ニ花露ヲモタ
セテ置ヲ見テイヨクコ、ロヲヨクナスヘキタメナリ右ノシカメ友
一 會ノ内ツイニ氣ツマル事ナシトナリ

一朝ノ會ナラハ坐敷ニ木地ノ行燈ヲ置也、坐所ハ床柱ヲカメ
トリヘリヨリ二目ニメ床ノ内ガモ見ヘル不ニ是ナリ但坐
敷ノ住居ヨリ床ノ脇ニモ不ニ是ハ見合道ニツカヘサル不ニ

之也。是景ヲトルト云事有り秘事也別書誌アル夜
ルセツヨリ坐敷ニ行燈をゆへハユエニテ坐敷内クセリヤ
友勝子之を小屏風ヲ立旦ニをテ客来ト関テ居敷トナ
スカカキ立不パイカニセシワカニ持行ニ也俄ニ燈スカ亦ハ
カキ立ハハ光ツヨクテアシニ燈心ハ九ツニメ油皿ノ上ハニテ友
燈心一ツニテユイ長サ火袋ノ角ノ下角迄長クシテをト作
一釜モセツニカケ之湯パイ火パイト云テ朝トク客ノ
来ル時ツヨク釜煮ハハ霄ノ湯ニ成パイ左扱ナルトキハ
火ヲ籠ホト取パイ火ヨハ過ハツ火ヲサシツ中足ヲ湯

パイ火パイトパイ下火ニカタク火ウツイ不申ハウナカ
ハシテヲコルヤウニ仕テ吾免角客来ルト関ハ迄ハ釜勝手
カケ置テ炉中ヲ見合指川ヲメ吾客セツ過ニ来ル時煮
シツマリテ時々煮音アルヤウニ仕事肝要トパイ
一朝ノ會ニ客ヨリ緩ト可系トパイ此燈ノ火ヲ見ル
狹ニ系タルカ吉亭主モソノ心得ニテ夜明ト迄火ヲ置事
吉トパイ作
一客一人ニテモ早ク被来ハツ外腰燈アラハ入テ相客来ル
ヲ待テ揃ハツ業内可パイ外ニ居ハツ亭主孫出腰燈迄

市入のテ以侍也トヤルテ挨拶ヲイタシ吐居テ其人モ表
系りて引込ハシ客採り物々氏業内アルハクハ亭主同
輩ナラハク、リコシニ禮ヲシテ手拭ヲ以テク、リ廻リヲ又
クイテ市入作トヤテ其儘ク、リ明テ在テハイルハシ
主人貴人ナラハク、リノ外ハ露出ハシトヤル

一客ハク、リキハミテセキタラハキカハ入ハシ雨雲ナトハ笠ヲ
出シ置我クハキ物ハ庁脇ニ立カケテ置カ我カサウリ取
渡モ猶言トヤル

一路地ニ氣ヲ付心シツカニ十カノ雲隠ノ内石ノスハ快スナノ

是ヤウ見テ腰懸ノ内念ヲ入テ見ハシ夜フカキ時ハセツイ
ニノ内ハ見ストモクルシカラス夜明テ中ニ見テトヤル
一路地ニ取ニ教寄屋ニ所ニ有ク時ハ教寄屋ナキ方ニカレ行ノ
枝アルヲ一本横メ是之真方ハハハ系ル事トヤル

一路地ニテ客行地持杖ニ番メノ客持タルカ否跡ノ見ハ
杖ニ我カヨリ跡ハナメ持カ否教寄屋ハ入ヤ付ハカ掛ク
見ハカ否ノ松葉ノ上シヤリノ上ニテモ両方見ハカ否是之
客座台入シヤルハ則取込トヤル

一主人ノ御供ノ時市入為進クハセツテテ見ルニ

不及い座敷へ御入ッテ御座敷へ見申路地
テハ見不申ルシカラス由ヨ

一主人ノ御座ノ時ハ外ニ持セ脇指斗ニテ入レシ主人
ヨリ御茶ト下ハ時モ同脇差ノ至御腰掛ノ上ノ脇差

トヨ

一〇懸ニ置時ハコシリノ方ヲ壁ノ方ニメクリ形ヲ上ニナシテ
サケヲ下ニサカラヌ又杖ニ置之貴人ナトノ御相伴ニ糸口
モサシテ入腰掛ニモ不置ハ時ハ〇懸ノ下土ノ上ニ鼻紙ヲ
一柄置テワカラ下ニメ壁ニ立カケテモ置之カサケヲサヤ

卷付テ居ト

一主人ノ御座ノ時座敷ノクリニテセキタラハ侍脇フニ
ソコへテ入レシツ子ノコトククリノ内ヨリセキタラトリテ壁ニ
立カケハ事ナシ主人ノ跡ヲナス故之次々ノ人ハ先ニ
入タル人ノセキタラフミテ入事之中立ニ御出ハ時一人
御先へ出テ御セキタラナラシテ各但座敷モ座敷ク立
歸リテモ御跡ニナラサルハ時ハ脇ノ壁ニ立カケテモ居

トヨ

一主人ノ御座ノ時腰掛ノ内ノワニ石ノ上ニワケバイテ居ル

カ吉腰ヲカケヨトノ御意ナラハセキメラフミソロノ録ニ
上リテ畏リ居ルカ言ト申作

一主人ノ御供ノ時ハフクサ縮新敷半拭ナト持テ糸ル事ニ
御用ノ事有物ト申作

一夏冬ニ昼晩ノ茶湯ニ水ツカイテ座敷へ入レ朝ハツ
カワス作キ水ツカイ作キ柄取亭主置タル扱ニ是物ナリ
主人ノ御供ノ時座敷へ御入レ時湯跡ニテツカイタルカ能
ト申作

一座敷へ入テハ先床ノ内ヲ見テ言見ヤウハ床ノ下ノ畳ノ

真中居テキヲツキテ見レシ片脇ヨリ見ハアシ但主人
ノ床脇ニ湯座ニ引退キテ見レシ見ヨト御意ナラハ去
スクニ正面カラ見テ言在合モ其時ノ躰ヨリ湯意ヲ窺
キ躰ニイタレシハ見ヨトニ仰物ニ其時行テ見ルニ朝會
ニテ夜明方ニテ床ノ内見レカ子ニ障子ヲアケテトクト
見テモ言ト申作

一傍輦ノ客ニテツク床ノ内炉中棚洞戸ノ中ヲ見レシ
揺る洞戸ノ中ハ見ヌ物ト申作ハレイカニモヒソカニ障子
ヲ明テ見タルカ言トノ御意也

一座敷ハナラレ上座ノ人床茶ノ置何時モ廣クアケテ
居ル物之其子細ハ亭主外路地ニテ一禮ア友在貴ハ
被居作テ初言可出言ナシ其時亭主ヨリ今少先ハ
湯上リトア物也是ヲイハセシメ引サカリテ居ル事
也又客ヨリ亭主ハ可出言ナキ故亭主勝手ノク干ノ
敷居ヲ隔テ居ルヲ客ヨリ内ハ湯入作テ吐トア物之
是ヲ云セシメ敷居ヲ隔テ居事トア

一上座知サル坐敷有リ先勝手ノク干遠キ下上座ト心
得テ居ルモ言中立ニテハ茶ヲタテハ出ス所居ル事之是ヲ

居代ル座敷ト云猶知レサル座敷ニテハ何レニ居ル事カ
ト亭主ハ尋テ居ル物之其時亭主ハ其時分ノ教寄
者ハ居ル跡ヲ云物也毎た是カ上座トハイハ又物トア
一客ハ路地座敷ヲ感シ教寄屋ニ入タル吐ヲ仕事之亭主ハ
客衆ノ窮屈ニナリ心安キヤウニメ氣ニ入タル吐ヲ仕事ノ
間モナキヤウハ吐アカス事也免角客亭主トモ朝夕
ノ茶ノ湯之緩クト吐ス事言殊朝夜フカニ来ル客ハ退
屈ナキ候ハ吐事言トア
一釜ヲ上知廻リヲハク時イソカハシクハカ又物之座敷サハ

カシク見ユル物也客ハ炉ツハリヲ見テ則知ノキハ
寄テ見ルニ炭置仕舞香ヲク申マテソコニ居テ本座
ノナヲル主人ノ御座ノ時ハ御意ナクハ炉ノヨルカラス主
人ヨリ御茶被下ル時モヒカテ居テ汗見仕度候仕
候ハ寄テ見ヨト被仰物ノ其時一人ノハイヨリノソキテ
見ルカ言ト申候

一炭置ノ時分窓ニサアカリサレテ見テ仍然ヲ引ヨセ
ス手カイニガキハ置テ爰ニテ火ヲカキ立テ炭ヲ置也
釜ヲカケテ後行焼ヲロクニ直ニ作カ勝手ノ取込カ言

一 亦座敷クヲクナルニ行焼取テ夜明ノ迄申事ノ

一 行焼ノアカリニテ炭置候時クワン羽帚ヲ勝手ノ方
ノ壁キワニ置テ炭取リ込ム事モ有リ夜明ニ釜ノヒツ
ミヲナヲスニシトノ心ニテ置也クワン計モ置夜明ウツ
取込又柄杓カケノ釘ニカケ置事モ有リ其時ハ先クワン
ヲカケ其上ニ羽帚ヲカクル釘ニカケ棚ニ置候物中ニ立前
マテハ置テ不若候中ニ立ノ時取込ニシト申候
一 行焼取時分夜明候ニ行焼取候テツキ上ノ中ノホ
ウヲ持出ツキ上テ炭ヲ置ニ申ノホウヲ持出窓ノ下ニ

立置尺ハヲトリコシニサシテ左ノ手ニテ雨戸ヲカヘテ中
ノホウヲ右ノ手ニテツキ上障子ヲサケ申作テ炭ヲ置カ
吉夜明ハナレ作シ行純置事アリ、未明ニ取物也純炉
ノ火ハサヲソキカ吉夜明ニテモ純炉ノ火ハ面白キ物ナリ
ト御意ナリ

一若炭フスホリ作シコケ取ヲ持出取ノケテ炭ヲ置ツキ
テ吉トノ事

一片口ニ蓋置ヲ漆テ持出作ニ不及作茶巾計蓋ノ上ニ置テ
持出片口ノ蓋アヲノケテ釜ノキハニ置テ其蓋ノ縁ニ持

セカケテ置水ヲツキテ片クテノ蓋ヲアヲノケナカラ片口
重テ勝手へ出スト申作

一塗り片口ニ蓋置ツヘテ持出ル事ニ毎用本地同前ナリ

一塗り片口ク切ニ用意作純ハ本地モ同春ハ純ハ本地ノ片
口面桶炉フナ地ニク也本地吉春ハ陽ノ氣ノホリ故又リ物ニハ
ホコリタメルモ見ユル也其上故ムル心ニ有

一釜ヲカケテヒツミ見ヘカ子作シ客ノ中心安ク存ル方ニ向テ
曲ヲ水覽ニ下ルト談合メロクニカケシカタヒク有之ハ
客ノ心ニカシ物ト利休申由御意ナリ

一炭置は舞テ釜ヲカケ湯煮申迄咄居テ湯煮ト時蓋
ヲトリカケテハイル也昼晩トモ同前ト申但會席イソ
キ可出ト存イツ心容キ客ニ釜フキイツ取カケ惟テ被
下（ト）テモ言ト申（ト）惟

一朝會ニハ會席ノ時分ヲ客ニ尋不（ト）物ノ夜明日ノ出ニ會席
出ス（ト）夜ノ内ニハ出シ不（ト）事ト申（ト）惟

一會席出シ可申ニ時ツキ上ラ中ノホウニテ上テ膳ヲ出ス（ト）
ト申

一會席ノ事食ハ常ヨリスクナクシヤクシメナトノ有様ニ

イツキリトモリテ言ト申（ト）

一汁ハ一番ハイカニモスクナクニ番ハツ子ノ如シニ番マテカハリ
惟（ト）一番ヨリスクナキ程メ言ト申（ト）

一引物ハ客ノ数ヨリ多入テ出スカ言ト申（ト）

一食ツキノ内中高ニセルハ見ニクシ長クニ段ニシヤクシメ
ナトアルカ見ヨシ食ツキノソコハハイニ食ノヒロカリテ有
モ見ニクシト申（ト）

一自身ノカヨイハ客亭ノ主ニヨルハシニ舟公ハ水家中ノ者ニ
御茶ニ出トルハ水キウシノ者内ハ水入置ナサレ水傍手

口ニ御座ルテ膳ヲ取次曲リナト由年自由直ニ中ノ由キ
ウシニ由渡シ由成作

- 一 上座ノ客先汁ヲ早ク給キリテ置カ言カヨイ汁カニ
糸准時計ヘリ不申由ハキウシカ子ヤ事ナリト申作
- 一 食ツキハ一度出メ其后ハ由望ナクハ出スハカラスト申由
- 一 数寄ニハ汁ニ菜酒ニ返ノ物也ト申作
- 一 會席過テ茶菓子出メ亭主ハ路地ヘ出年水ナト入サ
セ其通見合水ヲウタセテ入ヘシ會席マヘ炭不置ハ茶
菓子ヲ出メ則炭ヲ持出置テ路地ヘ出ヘシ丈マテ客不出

カ言トヤ作

- 一 客ハ中立ニ出路地見廻氣ニ不入町アル共不言不笑サヤシ
事ナク茶湯出来タルヤウニ感タル吐汁有ヘシサヤク事
笑事アルハ亭主ハ氣遣ニ思フ物ナリ案内アラハ列入ヘ
シト申由

- 一 客座ヘ入ラ床ノ花見申ニ余リキワヘ寄テハ見又物也花ハ
枝ヲ折カメクノリナトメ置友左候ノ町ナト見出サス事
也イカニモカロク見テ言ト申由

- 一 客主人カ茶湯切者ノ人ナラハ花ヲ由望スル事有リ平人

ハハ取望ハセス小客モ不入物也花出来ハテ亭主罷出テ
拜見シテ残ル花ヲ取テ引込扱茶メテ可申ヤトツ子テ
立ル事ト申作

一 貴人ノ御道具ハ上座ノ人一西人見申作テ末座ノ人ソ
ソキテ見ルカ言其内功者ノ人見被申ヲワキカラソキテ
見ルカ言茶盃十トモ年ノ内ニテ廻テハ見ヌ物ナリイカニモ
真ニ大事ニメ見ル莫但荒茶盃ハ各別ナリト申候

一 貴人ノ御キヨリ直ニ茶盃被下作テ請取申可シテイ
タ、キ居座ニナリテ茶ヲ吞時イタクハシト申作

一 主貴人ノ御前ニテ茶ヲノミテ跡ヲイタ、カスカギ茶
ノ時モイタ、カス惟下座ノ人ヨリ茶盃ハ亭主ハ返スハシ
但茶碗持テウフ躰ニイタシ惟ハ直ニ返シ惟ト被作
惟ソカ直ニ返スハシ是ト御意アラハ可上シト申作

一 客茶ヲノム時次ノ人ヨリ茶碗請取テ亭主ハ茶ヲノメト
申時ハイタ、カスニ云カ言亭主ノマスハソコニテ戴テ給申
ハシ但貴人ヨリ直ニ御渡シ惟ソ亭主ハタト不及申
イタ、キテ給ハシ也ト申

一 諸事ニ氣ヲ付過タルハアシ、ヲウヨウニメサスカヌカラヌ候ニ

スレ平人トメ亭主ノ道具指テ誉又物也只感シタルカ
吉押出メ誉ハ貴人サテハ功者此両人ハホム也去亭主
珍敷道具トリ出シ又一種ニテノ茶湯ニ儀ク平人モ誉
レシ左楸ノエシヤクニテ能容悉敷客トハ申事也ト申儀
一名物ノ茶入ノ蓋ハ扇子ニ置物也二間ヒラキテ茶ノ折メニ
ヨセカケテ置テ見ル様メ何レノ茶入ニテモ扇子ニフタテ
置事ナレモ名物ノ茶入又ハ主貴人ノ御茶湯ノ時ハ
常ノ茶入ニテモ右ノ仕形ニ可仕タメニ常ハ不仕ハ常ノ
茶入ニテモ右ノ蓋ヲ持ナカラクテ廻リテ見テ其儀蓋ヲ

メ外ノ廻ヲ見ルカ言下ニ置テ見申度ハ蓋ヲアラケニメ
地ニ置テ見ルカ言ト申儀

夜會之事

一 復冬昼晩ノ會ハ迎ニ人ヲ遣テ言但時サシテ約束申ハ
ク不及左右ハ一左右アラハ其使トツレタツホトニ早ニ行
カ言炉中路地ノシメリヲカンカノ千カイテ炉中路地ノ
時分過申事也ト申

一 益ノ炉中ハ火ツヨク湯モ煮カ言夜會モ同事ト申儀
一 火焼時分ニ茶可下ト約束申儀座敷ハ火ヲトモシ

申時分客モ来ルカ言カ短檠ヲ燈スヘシ燈籠ニモトホ
シ炉中モ悉敷仕置カ言ト申小

一夜會ニテナツメヲ其儘アリ所ニ置テ左ノ午ニテ蓋ヲ
取テ則左ノ脇ニフタヲ置ニヘメトフセテ置テ其午ニテ
ナツメヲ取茶ヲクミ奉ノ取ニ置テ則左ノ午ニテフタヲ
スル事有ナツメハフタ淺作友モシトリヲトシ俵半角
ノ仕カタ也ナツメ計ノ事也中ツキニテハ不仕小但フ、キハ
ナツメ同前也トノ御意ナリ

一夜會ニ昔ハ掛物花モ不置油上ニ掛物ニカ、ル（キカトノ

事ニ候トトモ利休ハ懸物モ花モ入申由赤キ茶昔ハ不
入ハ余也過タルトノ事カ是モ利休ハ入申由御意也

一暮ニ及中立メ茶立申中ハ暮可ト見ルハ外ハア
カリモ窓連子ノ戸ヲ立短檠ヲ置テ呼入燈籠火ハ猶
早ク燈メ言客見シテ取ニテ俵ノ手桶ノ中ハ油四ヲ入テ
火ヲ燒メ持行燈籠ニサシ入テ置カ言ト申小

一夜會ニ細ク炭ヲ置テ言火ヨワク候ハ夜更タル様ニテ
寢付物也

一夜會ニ茶立仕舞テ水指其儘事有其時ハ片口持

出水指ニ水ヲツキテ置物ニ容ニ緩くと御吐儀下存仕
カメ亦下心ニハ夜ニ置合見合カメキ故其儘置テ又
ウス茶ヲ立へキトノ心也尤昼ハ不仕ト申儀

一夜會ニ七朝夕ノコトク塗リ行燈ヲ路地へ出シ置事
也ト申儀

侘敷寄之事

一薰ハ侘モ冬ハ座敷勝手ニモ夕キテ吉ト申也
一大名ノ侘ノ敷寄面白ク思召候ク路地敷寄屋
カロクメ真ノシツヤノ躰ニメ會席ナトモカロク

時ノ野菜ニテ山ヲシキナトニテ作意專ニメ道具ハ一
二種一カイ名物取持メ茶湯被仕テ吉真ノ侘ハ會
席モ無用不時ノ茶湯茶菓子計ニテ可然候尤
掃除ハ不及申炉中念ヲ入へシ古キト云テモ不珍
道具不出何レモ荒キ物ニテ志計ノ茶湯吉但炭
花手前ハ一カト出来儀様ニ夕ニナムへシ望ノ客ハ左
様ノ所ヲ見被申外ナシト申也

一侘ノ夕シミ置ノ一リ茶入ノ袋ノ緒ノシユヒ夕掛物
ノフユノソコ子サルヤウニ釜五徳ノ色サヒサルヤウニ

并箸ヤウシニ念ヲ入事行要ト申

一 侘ハ路地敷寄屋セハキカ持能キ物ナリ一畳弟
目ニ畳弟目侘ノ座敷ニ吉トノ御意也

一 侘タル人ノ方ハ糸會席出シ候ク膳ヲモトシ候
時客二人ニテモ三人ニテモ膳一ツニカサ子コキモ膳ノ上
重箸ナトモ惣ヲ一ツニメ膳手口ノ物ニカマハサル取ニ在事
ヨリ是ハ亭主ニ苦勞ヲカケ間敷トノ用捨ナリ無左
常ノ茶湯ニハセヌ事也何モ亭主置如クニメナカ
ス返スカ吉膳ノ内取合亭主哉度モ置テ心ニ叶タ

ルヲ出ス事ナレハクツシテ返スハモトクニテ候侘ハ自身
ノキウシニテ候故イタハリテノ事也ト申小

一 迎ニ出山時手桶ニ水ヲ入柄酌持ナカラ出一禮メ入サ
マニ取クニ水ヲカケテハイル事モ有ト申小

不時之會之事

一 不時ノ客来候ク先イカヤウノ躰ニテモ不苦路地ニ
水ウツニモ不構客ノ迎ニ出ルカ吉但手水ハ入サセテ
出タル吉客手水ヲツカフ故也最カトヨリ釜ヲ懸
置不申ハ火ヲ持出炭ヲ置釜ヲカケ申内ニ路地ニ

水ウタセ花十ト客ニ照望イタシ花被入ル其内ニ
身コシラヘラシテ花被入候ノ罷出ルテ見ヘシ客ハ
不入カ吉亭主ニ花入候トノ事ニルシ其時ニシタ
カイ入ヘシ其内ニ湯ワキ候ノ先ウスク可系ヤト
尋テ望ノ由ニ候クウスク立ヘシ其間ニ會席ニテ茶
菓子ニテモ急キ出スヘシカ俄ニ出来不申物ハ縦在
合候トモ出スヘカラス茶十トモ座敷ニ開ヘ申取テ川
セタルカ吉最ノ火ヨハクナリ候ク又中立最炭置
ヘシ火減能ハ中立サスヘシト申候

一座敷ニ釜カケテ有之時不時ノ客来候ク客座敷ヘ被
入テ則フクヘ持出炭ヲ置テ釜ヲ勝手ヘ取テ立湯ア
ケ水ヲカヘ釜ヲカクル仕形アリ是モ客亭主ニヨル事也
ト申候

一 首ハ不時ノ兼湯ニ懸物カケスト云子細ハ俄ニ掛物
カケテハ折合不申トノ事ニテ前日ヨリカケシメテ
置ヨリ不時ニハ夕トハ勝手ニ掛ケ置テモカケ不申
由當代ハノリ合モヨク候故俄ニカケ候テモ折合申
故不時ニ掛候テモ不苦候初然物ナク花斗入ル

此ハ床ニ何モ不置カ言ト申儀

一不時ノ客ニ花取望ノ時勝手ノ方ノ手ニウスイタヲ
フクサ箱ニテトリソノ横ニヒツサケテ持又片手ニ花入
ヲ持出先ウス板ヲ床柱ヨリニ寸斗間置テ壁ニ
横ニメ持セカケテ置懐ヨリ手又クイヲ取出シ花入ヲ
ノセ置床ノ下ノ勝手ノ方ニ付テカリニ置ウス板ヲ床ニ
ナラス左右ハ真中先前ハ二目千カイニ置テ巷入ヲ
置ヒツミハ念ヲ不入曲メテ置カ言ヒツミハ赤直ニ儀下
申カ言貴人ノ御花赤入儀此水相伴ノ衆ハヒ

ツミハ赤直ニ儀ト申物也ト申儀

一名物ノ花入ニ候ツカリニ置儀取モ床上ノ片脇ニ置テ
ウス板ヲ直テ花入置ナリ置換右ノコトシ茶道ノシカ
タモ同今焼ノ花入ナトハ余取ニテモ床下ニカリニ置
テノナ上ル事言ト申儀

一薄板ハ右ノコトク立カケテ置故手ムキヨキ方ノ
壁ノ方ニ置ト心得ヘシ亦兩手ニ持ホトノ大キナル花
入ニ儀ツク先薄板斗ヲ持出右ノコトク壁ニ立カケ
花入ヲ二番ニ持出右ノコトシマタ花ヲ客不入亭至

入ヨト被申候ハ御茶菓子ヲ調可申間花ハ御
入被下候ト申事モ有其時ハ首尾次第也ト申

一人客之事

一人客ノ時亭主迎ニ出被申引込被申時客モ亭主
ニ引付路地ハ入物也路地ノ躰感ニ亭主ハ聞セ鳥ト
申之亭主モ挨拶メツレタナテ吉客手水ツカイ被
申内ニ先ハ入テ萬事ル付候ト申候

一人客ハ下座勝手近クニ居物ノ躰一侘ノ亭主
如斯ニ候ト申候

一侘ノ客亭主ニテモ右ノコトシ一人客ニテ茶菓子計ニ
テ仕業候時同一人客ニテサヒシクハ亭主相伴メモ
吉忒會席ノ相伴モ吉茶ハ不及申相伴メ吉ト申
一廣キ座敷ニテハ家具トモニキイサキ物ヲ出メ吉セハ
キ座敷ニテハ何モ大フリナル物ヲ出シテ吉但一疊
躰目ナトニテ大キナル水溢出シルテハセハクツカレ可
申ト存ルハ不及出ニト申候

家具之事

一塗リヲシキニ金銀ノ皿無用ノ事

一塗リ折敷ニ木具ノ重筥フナ高毎用但侘ハヌリヲ
シキニ木具ノフナ高重箱不苦小

一アカリコワシ其外能梳ニモツソウ食不入モツソウニ
浅キ梳カイカニモツソウサウナル梳ニ入テ吉

一古キ塗リヲシキニ水ヲウタス作木具ニモ水カケサル
カ吉ヤウシヲシメス人有隻十トハス、シク見テ吉
冬ハ毎用也

一折敷ニ梳ヲ置事食梳汁ワシ中へヨセスリ合程ニ
メ両脇ヲ廣クメ置物也

